

私はこの四月一日付で、前校長中村礼作先生の後をうけ、第十代校長として本校に着任いたしました。本校の創立は昭和十五年ということですが、この年はちょうど私が、田舎の師範学校を出て小学校に就職、また十二月には軍隊に入営、という記念すべき年に当ります。本校では、その時以来三十七年、同窓生・教職員の方がや生徒諸君が、當々としてこの輝かしい伝統を継いで来られたわけで、このような名門校に着任できましたことは、私にとりましてこの上ない喜びであり、同時に責任の大なることを深く感ずる次第です。

# 着任のご挨拶

大國五郎 捜



私はこの結果を生徒会活動や美化活動にも及ぼしたいのである。右に挙げた生徒の傾向は本校だけの好ましい特徴とはいえないが一般高校に比べてずっと優れている点で本校の誇りとしてよいと思ふ。このような特徴はみなさんが志力がいとくらくなれば経験とで

らく、苦しい道を選べ、といううと  
である。このことは私の40年の  
経験を通してえた信念である。つ  
らく、苦しい道を歩んでこそ、意  
志力、気力、創造力等が伸び生き  
がいのある人生を築くことができ  
るのである。私はこのたび、六十

る。私と同様、同窓会のみなさまのご協力をねがいしたい。  
それでは最後に在任中、同窓会から寄せていただいたご支援と厚説に感謝し、同窓会のご発展祈念し同窓生のみなさまのご健とご発展を祈ります。

私はこの四月一日付で、前校長中村礼作先生の後をうけ、第十代校長として本校に着任いたしました。本校の創立は昭和十五年といふことですが、この年はちょうど私が、田舎の師範学校を出て小学

本校のおかれている環境を見渡しますと、上水や校庭の樹々は緑濃く、松風がそよぎ、土の香も高く、武蔵野の面影がまだ豊かにたたえられております。校舎はほんとに、私は着任感を深くし、学生の実感をもたらすことは言えると思います。

さに理想の学園という  
ます。

の向上、社会性の育成の三つに、本校の伝統である自由な雰囲気の中で取り組んでいきたいと考えています。学校は次代の日本を背負う有為な国民の育成という観点から、教育内容や方法を総合的に検

てきていますが、先生方と共にどう  
らに力を尽くしていただきたいと考え  
ています。

同窓の皆様方には、それぞれの  
お立場でのご健闘、ひいて同窓会  
のご発展あるよう祈念いたします

好ましくない生活指導の対象となる現象もふえつてある。

第三は「学校行事を生徒の力」で見事に成し遂げること。体育祭・音楽祭・文化祭の学校行事には積極的に取り組み、準備から展開していく。その活動に主導的役割をもつた。

体者である生徒自身の自覚と行動にまつものが大きい。自己教育で「修練の意志をもつてがんばっていただきたいのである。

て過したことは私にとって最後を飾ることができたと考へている。それに比して武藏高校のためにはなんにもできなかつたことを思うと、深くおわびするほかない。

# 開幕は 5月8日 (12時開場)

P.M 1:00~4:30

同窓生の語らいの場所を  
提供します。

主会場：会議室（模擬店多数出店）

分会場：指定の各教室

(それぞれにお茶の用意がしてあります)

会費500円（新会員は無料です）

第 12 号  
編集発行  
武藏野市境 4-13-28  
都立武藏高校  
同窓会編集委員会  
電話 武藏野(51)4554  
印刷所 祇木印刷  
武藏野市境 3-17-1



「武蔵の前進を期待する」

前校長 中村礼作

生徒数は男女半数づゝで計一千五百名、群制度下にあっても昔と変わらず武蔵高校を憧れて入学してきた生徒たちでいずれも中学校ではエリートである。私は赴任以来二年間の経験を通して次のように本校生徒を評価している。

第一は「思いやりの心」の深いこと。級友の危機とか入院とかのときは級全員で救済活動やお見舞などと行き過ぎかと思われるほど熱心に行う。まことに心打たれる思いがする。これは日常にも目される。朝、私が渡り廊下に立つて登校する生徒に「おはよう」と挨拶をしている。

同窓の皆様方には、それぞれお立場でのご健闘、ひいて同窓会のご発展あるよう祈念いたしますと共に、母校における私どもの学校経営・教育指導に対しましても一層のご支援とご激励をいただけますようお願いして、着任のご挨拶といたします。

マスクを当てていると、それはへ  
そつと寄ってきて「カゼですか、  
無理をしないで下さい」と声をか  
けてくれる。この思いやりの心は  
将来、社会人になってからも対人  
関係の中で自然に発露されるよう  
になることを願っている。さらに  
欲を言えば、社会連帯・人類世界  
の共存につながるように拡大発展  
することをも期待する。

第二は「良識ある生活態度」を  
身につけていること。現在、一般  
の高校で共通の悩みとなっている  
生徒の非社会的行為・非行や学校  
不適応生徒はきわめて少ない。ま  
た、服装について本校はかなり前  
から自由化されている。とかくこ  
の自由化は世間の批判を浴びてい  
るが、本校生徒の場合はむしろ自  
由化のよさを示しているともいえ  
そうである。ほとんどの生徒はい  
かにも高校生らしい服装をしてい  
る。そして目は輝き、行動は潤達  
である。しかし、最近、一般的な  
好ましくない生活指導の対象とな  
る現象もふえつつある。

第三は「学校行事を生徒の力」  
で見事に成し遂げること。体育祭  
・音楽祭・文化祭の学校行事には  
積極的に取り組み、準備から展開  
と盛り上げ、すばらしい力を發揮  
して成功に導くのである。学級ご  
と・オールクラスごとの集中結束  
力は大したものである。

私はこの結束を生徒会活動や美  
化活動にも及ぼしたいのである。  
右に挙げた生徒の傾向は本校だけ  
の好ましい特徴とはいえないが  
一般高校に比べてずっと優れてい  
る点で本校の誇りとしてよいと思  
う。このような特徴はみなさんが

かしつ、次の項目を重点に教養活動を開拓したい。

離任者	着任者
中村礼作 校長 (勇退)	大國五郎 校長
高見泰治 教諭 (勇退)	竹之下俊朗 教諭
斎藤政毅 // (武藏村山高校へ)	中里健 //
萩原直子 // (杉並工業高校へ)	山下忍 //
鶴田正雄 事務長 (勇退)	日比みづ江 事務主査
斎藤義明 主査 (赤羽商業高校へ)	植村薰 宏
高橋富信 主事 (秋留台高校へ)	徳永松本久美子 主事

生徒時代になんとなく過してまた生活の中で自然に形成され、定着し、これが受け継がれているものと見ている。私は、これらを本校の伝統としてますます確立していきたいと思う。

しかし、本校生徒の教育についてたくさんの方々の課題がある。云流を

---

(五日市高校長から)  
(葛西南高校より)  
(紅葉川高校より)  
(東京教育大・新卒)  
(　〃　修士課程卒)  
(大泉高校事務長から)  
(田無工業高校主査から)  
(国学院大柄木短大新卒)

# 武藏高校を去るにあたつて

高見泰治



本校在職二十五年も“アツ”と言ふ間だった様な感じです。

三代目校長の近藤先生にお願いして着任したのが昭和二十七年で、学校のあたりは緑が多く、いわゆる武藏野の自然に恵まれ、絶好の環境でした。その頃は新制度の男女共学が始まつて確か三年目の年で全学年に男子が居たのですが、今と違つて、男女の比率は一対二で絶対大多数の女性の中で、心持ち圧倒され、小さく固まつていた様です。生徒会も会長以下女性でなかなか活発だったので男子は改革を試みても多数を占める女子に反対され、実現出来ず、残念だった事もあつたでしょ。何となくお氣の毒でその頃を思い出すと昔の感にうだれます。

職員室も普通教室を一つ使って何かやりくりしていたのですが、あの時代の職員室の雰囲気は如何にもなごやかで、毎日顔をつきあわ

ていた頃、先生の訃報に接して、

一度ご無沙汰のおわびに伺いた

いと思いながら、多忙に追われ

ていた頃、先生の訃報に接して、

びっくりすると同時に、後悔の念にかられなりませんでした。今はただ、心からご冥福をお祈りし

せ意志の疎通が十分あり、心が通つてゐた気がします。また多岐にわたる学校行事も思い出深いもので、長く印象に残る事ばかりで、行事に参加する生徒諸君の心構えも、概して真剣にとりくむ姿に敬服したものでした。

その頃の在校生諸君も現在は社会的第一線で大活躍しておられ、そこで、長い間本当にお世話になりました。

次第です。

武藏の変らない氣風と卒業生諸君の御発展をかげながら祈り上げる

わたる学校行事も思い出深いもので、長く印象に残る事ばかりで、行事に参加する生徒諸君の心構えも、概して真剣にとりくむ姿に敬服したものでした。

その頃の在校生諸君も現在は社会

の第一線で大活躍しておられ、そ

に敬服したものでした。

その頃の在校生諸君も現在は社会